

中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																		
01	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職員修学資金貸付などの支援制度を継続実施する。 ガイダンスへの参加、学校訪問等を積極的に行うとともに、インターネットや新聞などの広報媒体を活用した看護師、コメディカルの募集活動を実施する。 定年を向かえた医師、看護師等のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用を実施する。 大学医局との連携などによる医師確保に努める。 業務負担軽減を推進するための医師事務作業補助者や看護事務補助者などの確保に努める。 医師事務作業補助者の業務のあり方について他院の取組み等を研究し、業務内容の検証及び研修体制を拡充し質の向上を図り、さらなる医師の負担軽減を推進する。 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進や、院内保育施設での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づくりに努める。 <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等と連携し、関連する各診療科の医師の教育研修等を 	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> より質の高い診療の提供ができるよう大学医局との連携による医師確保、ガイダンスで募集活動、看護職員修学資金貸付などの支援制度により、医療従事者の充実を行った。 <p>【医療従事者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>115</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>451</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>143</td> <td>149</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修の質の改善・向上を図り、良い医師を育てる研修プログラムとするため、卒後臨床研修評価機構による施設調査を平成28年2月に受審し、平成28年3月にはその認定を受けた。 <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療の質及び安全の確保への意識向上を目的に、職員対象に医療安全推進週間での「医療安全川柳コンテスト」の実施をした。 高齢者の割合が増え、転倒・転落による骨折などのアクシデントが多くなったため、患者や家族を交えた環境対策などを図った。 <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,661</td> <td>3,765</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	医師	115	124	看護師・助産師	451	463	コメディカル	143	149	区分\年度	H26	H27	インシデント	3,661	3,765	IV		医療従事者を確保し、診療体制の充実につなげていること、また、医療安全面上の努力がみられることは評価できる。
	H26	H27																					
医師	115	124																					
看護師・助産師	451	463																					
コメディカル	143	149																					
区分\年度	H26	H27																					
インシデント	3,661	3,765																					

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 			自己 評価	論 点	検 証 (案)																			
	<p>継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県医師確保育成コンソーシアム及び名古屋大学卒業臨床研修・キャリア形成支援センターと連携し、医師としての資質向上を図る。 ・臨床研修病院の質の改善・向上を図り、良い医師を育てる研修プログラムとするため、卒業臨床研修評価機構による施設認定を取得する。 <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の質および安全の確保のため、インシデント、アクシデント事例について分析を行い、再発防止のための安全対策を検討する。 ・医療安全部会、医療安全管理委員会などにおいてインシデント、アクシデントレポートの集積および分析を行い、分析結果や検討内容を院内周知する。 ・多職種での院内安全ラウンドを通じて、組織横断的な医療安全活動を行う。 ・医療安全研修会や勉強会、医療安全推進週間を通じて、医療安全に対する職員の意識を高める。 ・医療安全マニュアルの見直しを行う。 	<table border="1"> <tr> <td>アクシデント</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,681</td> <td>3,795</td> </tr> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 視聴</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新しい医療事故調査制度について(9/15)</td> <td>531</td> <td>405</td> <td>—</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>救命・救急最前線でインシデントを防ぐ(2/25)</td> <td>469</td> <td>—</td> <td>332</td> <td>80.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DVD視聴・研修会：参加率100%を目指すため実施</p>	アクシデント	20	30	合計	3,681	3,795	テーマ (開催日)	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)	新しい医療事故調査制度について(9/15)	531	405	—	91.0	救命・救急最前線でインシデントを防ぐ(2/25)	469	—	332	80.8			
アクシデント	20	30																								
合計	3,681	3,795																								
テーマ (開催日)	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)																						
新しい医療事故調査制度について(9/15)	531	405	—	91.0																						
救命・救急最前線でインシデントを防ぐ(2/25)	469	—	332	80.8																						
02	<p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ内に新設したIC（インフォームドコンセント）シートを活用し、インフォームドコンセントの確実な実施と記録を院内職員へ周知徹底していく。 ・インフォームドコンセントにおける同意書の内容について検討を進める。 ・セカンドオピニオンについて、院内や病院のホームページに掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。 	<p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ内のIC（インフォームドコンセント）シートの活用と、ICにおける同意書の内容の検討・見直しを行った。また、セカンドオピニオン希望の患者に対し、医療連携室のスタッフが最初から対応し、より迅速な予約体制を構築した。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>8</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>55</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	外来受入	8	20	他院紹介	55	70	III		セカンドオピニオンの件数の増加は、良い傾向である。												
区分\年度	H26	H27																								
外来受入	8	20																								
他院紹介	55	70																								
03	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携センターと医事課が中心となり、院内各部門と連携しながら、患者動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携クリテ 	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携予約が取りにくい整形外科・神経内科・消化器内科の予約枠の拡大や、ニーズの多い血管外科の常勤医の確保など、診療体制の充実を図った。 	IV		連携システムの配備、血管外科医の確保などは評価できる。																					

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																										
	<p>イカルバスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 ・急性期病院としての役割を担うため、手術室の診療体制の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん治療として地域から期待される高精度放射線治療システム（ノバリスT x）を利用した診療体制の充実を図った結果、強度変調放射線治療（IMRT）などの患者数が増えた。 <p>【連携予約状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>906</td> <td>1,019</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>713</td> <td>871</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,413</td> <td>1,738</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,798</td> <td>9,604</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11,830</td> <td>13,232</td> </tr> </tbody> </table> <p>【血管外科手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>161</td> </tr> </tbody> </table> <p>【強度変調放射線治療（IMRT）患者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>197</td> <td>239</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	整形外科	906	1,019	神経内科	713	871	消化器内科	1,413	1,738	その他	8,798	9,604	合 計	11,830	13,232	H26	H27	0	161	H26	H27	197	239			
区分\年度	H26	H27																													
整形外科	906	1,019																													
神経内科	713	871																													
消化器内科	1,413	1,738																													
その他	8,798	9,604																													
合 計	11,830	13,232																													
H26	H27																														
0	161																														
H26	H27																														
197	239																														
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進するため、定期的に東濃・可児地域病病連携推進会議を開催する。 ・当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、地域医療支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率の確保を目指す。 ・かかりつけ医紹介センター及び多治見シャトル（病診連携システム）を効果的に活用し、開業医との連携を深める。 ・外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を継続的に実施する。 	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）を活用し、開業医との連携強化を進めることができた。また、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化により患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができ、地域医療支援病院としての要件を満たした。 <p>【多治見シャトル利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>526</td> <td>702</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56.8</td> <td>58.8</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	526	702	H26	H27	56.8	58.8	IV		多治見シャトルの活用件数を伸ばし、開業医との連携強化を進めていることは評価できる。																		
H26	H27																														
526	702																														
H26	H27																														
56.8	58.8																														

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																					
05	<p>1 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センターと各診療科の緊密な連携により、引き続き受け入れ体制の維持及びさらなる充実に努める。 ・急性期心臓血管疾患に対応する体制を充実させる。 <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度に運用を開始した県内統一のがん地域連携クリティカルパスについて、パスコーディネーターを中心に適用患者の増進に努める。 ・高精度放射線治療装置 (ノバリス T x) にて、根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高い治療を提供する。 <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核、感染症病棟について、救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者の受け入れ体制を維持する。 ・精神、結核医療について院内外の理解を深めるための各種研修、啓蒙活動を行う。 ・精神科に設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行う。 	<p>1 救命救急医療</p> <p>【救急車両受入台数】 単位：台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,524</td> <td>4,933</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.4</td> <td>13.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高精度放射線治療システム (ノバリス T x) で、より質の高い放射線治療を提供するなど、地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数 (単位：人)</td> <td>2,413</td> <td>2,622</td> </tr> <tr> <td>外来患者数 (単位：人)</td> <td>1,252</td> <td>1,496</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,098</td> <td>1,108</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法件数</td> <td>入院</td> <td>936</td> <td>1,272</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,076</td> <td>11,894</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線治療施行回数</td> <td>入院</td> <td>2,777</td> <td>3,031</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>6,246</td> <td>5,429</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム (ノバリス T x)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数 (単位：人)</td> <td>203</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>延べ件数 (単位：件)</td> <td>3,957</td> <td>5,076</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科病棟で、感染症患者受入れを想定した N95 マスクのフィットテストなどを実施し、急性期総合病院に併設した特徴を生かすとともに、東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関としての受け入れ体制の継続をした。 <p>【患者の受入れ実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>3,023</td> <td>3,072</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>6,654</td> <td>6,937</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	受入台数	4,524	4,933	一日平均台数	12.4	13.5	項目\年度	H26	H27	入院患者数 (単位：人)	2,413	2,622	外来患者数 (単位：人)	1,252	1,496	手術件数	1,098	1,108	化学療法件数	入院	936	1,272	外来	11,076	11,894	放射線治療施行回数	入院	2,777	3,031	外来	6,246	5,429	項目	H26	H27	患者数 (単位：人)	203	264	延べ件数 (単位：件)	3,957	5,076	病床\年度	H26	H27	結核、感染症	3,023	3,072	精神科	6,654	6,937	IV		救急車受入件数の増加、放射線治療及び精神科医療の充実などは評価できる。
区分\年度	H26	H27																																																								
受入台数	4,524	4,933																																																								
一日平均台数	12.4	13.5																																																								
項目\年度	H26	H27																																																								
入院患者数 (単位：人)	2,413	2,622																																																								
外来患者数 (単位：人)	1,252	1,496																																																								
手術件数	1,098	1,108																																																								
化学療法件数	入院	936	1,272																																																							
	外来	11,076	11,894																																																							
放射線治療施行回数	入院	2,777	3,031																																																							
	外来	6,246	5,429																																																							
項目	H26	H27																																																								
患者数 (単位：人)	203	264																																																								
延べ件数 (単位：件)	3,957	5,076																																																								
病床\年度	H26	H27																																																								
結核、感染症	3,023	3,072																																																								
精神科	6,654	6,937																																																								

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																							
09	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学生の学外実習を積極的に受け入れる。 ・看護学生については、専門学校や大学から積極的に受け入れる。特に、小児科や母性、精神科の実習について、状況に応じた実習を調整する。 ・コメディカルについても、積極的に実習を受け入れる。 <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的実施し、医療技術の向上を図る。 	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に受け入れた。今後は、学生見学を中心に受入れの充実を図る。(●) <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>22</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>567</td> <td>541</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>60</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>649</td> <td>624</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>36</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的実施し、医療技術の向上を図った。 <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>72</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>82</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	医学生	22	32	看護学生	567	541	コメディカル	60	51	合 計	649	624		H26	H27		36	32	区分\年度	H26	H27	生涯教育実習	72	64	就業前実習	6	8	気管挿管実習	3	1	薬剤投与実習	1	0	合 計	82	73	III		実習等の受入れについて、IVを目指した積極的な取組に期待する。
区分\年度	H26	H27																																										
医学生	22	32																																										
看護学生	567	541																																										
コメディカル	60	51																																										
合 計	649	624																																										
	H26	H27																																										
	36	32																																										
区分\年度	H26	H27																																										
生涯教育実習	72	64																																										
就業前実習	6	8																																										
気管挿管実習	3	1																																										
薬剤投与実習	1	0																																										
合 計	82	73																																										

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証(案)							
10	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療機器や開放型病床の共同利用について継続的にPRし、利用を促進する。 ・地域医療連携推進協議会の開催や、医療連携登録医等への継続的な訪問活動を通じて、医療連携の強化、各医療機関の役割分担の明確化を図り、地域医療支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率の確保を目指す。 ・病院主催の講演会、勉強会（医療連携、医療安全、感染対策、緩和ケアなど）を通じて、地域の医療水準の向上と医療機関相互の連携強化に努める。 ・在宅緩和ケアについて、地域のケアマネージャーや診療所等と連携し、事例検討会の開催や入退院の調整を行う。 ・精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行う。 ・東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科と協働してハイリスクの周産期医療を推進する。 <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険上矢作病院に対し、定期的な医師の派遣支援を継続する。 ・へき地医療に関しては、岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、随時医師の派遣を行う。 ・東濃地域等の他院からの依頼に応じ、可能な限り随時医師の派遣を行う。 	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用促進を図るとともに、医療連携講演会、症例検討会等を開催して地域医療の質の向上に努めた。 <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市民病院の精神科に医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣医療機関</th> <th>派遣状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td> <td>週1日（当直業務を含む） 延べ51人 研修医を5ヶ月（延べ5人）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中津川市民病院</td> <td>脳神経外科 5/1から3/31の毎週木曜日 1人（2人で隔週交代）</td> </tr> <tr> <td>精神科 9/1から12/31 毎週水曜日 1人（2人で隔週交代）</td> </tr> </tbody> </table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務を含む） 延べ51人 研修医を5ヶ月（延べ5人）	中津川市民病院	脳神経外科 5/1から3/31の毎週木曜日 1人（2人で隔週交代）	精神科 9/1から12/31 毎週水曜日 1人（2人で隔週交代）	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→III</p> <p>概ね年度計画どおり実施しているが、地域医療支援の具体例を示していただきたい。</p> <p>IVのまま</p> <p>東濃医療圏の基幹病院として、へき地医療にも貢献しており、高く評価できる。さらなる貢献を期待したい。</p>	<p>「IV」</p> <p>東濃医療圏の基幹病院として、へき地医療にも貢献しており、高く評価できる。さらなる貢献を期待したい。</p>
派遣医療機関	派遣状況											
国民健康保険上矢作病院	週1日（当直業務を含む） 延べ51人 研修医を5ヶ月（延べ5人）											
中津川市民病院	脳神経外科 5/1から3/31の毎週木曜日 1人（2人で隔週交代）											
	精神科 9/1から12/31 毎週水曜日 1人（2人で隔週交代）											
14	<p>2 大規模災害発生時のDMATの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省医政局及び岐阜県の要請によりDMATを常時派遣できる体制をとる。 ・大規模災害時において精神医療活動を行う災害派遣精神医療チーム（DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team）に、精神科医の要請があれば常に派遣できる体制をとる。 	<p>2 大規模災害発生時のDMATの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMAT派遣をした時に、岐阜DMAT指定病院間で連絡を行うための防災相互通信無線を整備した。 ※岐阜DMAT指定病院：岐阜大学病院ほか9病院 ・大規模災害発生時の医療活動派遣のためのDMAT 2チームの他に、精神科医療活動や一般住民の「こころのケア」に対する支援も担う災害派遣精神医療チーム（DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team）の体制を構築し、派遣に向けた準備をした。 	IV		DMATとともにDPATにも期待したい。							

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)									
17	4 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・「病院経営に関するコンサルタント業務」を引き続き活用し、費用の節減を図る。 ・職員の診療情報管理士など経営に関する資格取得や、経営企画能力の向上のための研修会などの参加促進を支援する。 ・再雇用制度等を推進し、有能な人材の確保に努める。	4 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントの活用や、委託業務に関する評価システムを導入し契約業務の評価を行った。 ・ 病院経営の向上に関する改善提案や省エネ・省資源アイデア (効果・実現可能性・動入コスト・利便性の視点から評価) を職員から募集し、今後の業務に活用した。	Ⅲ		職員からの改善提案の募集など評価できる取組について、その効果に期待したい。									
20	・プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、企業会計等に精通した外部人材の確保 (経験者採用) に引き続き取り組む。 ・新規採用職員研修を始めとし、事務職員としての総合的な資質を高めつつ、専門性の向上を図る。 ・診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を促進、支援する。 ・DPC研修会やその他勉強会、経営管理、人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進め専門性の向上を図る。	事務部門の専門性の向上 ・ 今年度、事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施するとともに、研修成果の院内報告会を開催するなどして研修効果の向上を図った。 ・ 管理職が、経営管理や人事・労務管理のためのセミナー等に参加した。	Ⅳ		事務部門の専門性の向上は自治体病院の経営の要であるため、さらなる努力に期待したい。									
21	1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 ・監事監査、内部監査を引き続き定期的に実施し、適正な業務執行の確認体制を継続する。 ・コンプライアンスの体制を確立するため、関係規程、法人が定める倫理方針などの教育研修や意識啓発を実施する。 ・岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に基づきカルテ等医療情報の開示を行う。	(会議や各部署への通知により、全職員に就業規則 (特に兼業禁止)、医療法などのコンプライアンスの確認と徹底を図った。今後も、定期的にコンプライアンスの徹底を図っていく。	Ⅲ		今後一層の努力を期待する。									
22	1 情報セキュリティ対策の推進 職員等に対する情報セキュリティの教育や啓発を定期的に行うとともに、不正プログラム・不正アクセス対策などの情報セキュリティ対策の推進及びチェック体制の確立を図る。	マイナンバー制度の実施に向けて、適切な個人情報の収集・管理の方法等について、ガイドラインに沿った体制の整備を進めた。	Ⅲ		今後一層の努力を期待する。									
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率 100%以上及び職員給与与費対医業収益比率を 50%以下とすることを旨とする。	・ 医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率 100.5%となった。職員給与与費対医業収益比率は目標の 50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与与費対医業収益比率】 単位：% <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>101.6</td> <td>100.5</td> </tr> <tr> <td>職員給与与費</td> <td>50.6</td> <td>51.5</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	経常収支	101.6	100.5	職員給与与費	50.6	51.5	Ⅲ		経常収支比率が年度計画を上回っており評価できる。
区分\年度	H26	H27												
経常収支	101.6	100.5												
職員給与与費	50.6	51.5												

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																															
27	<p>1 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて職員募集や再雇用制度などによる人数の確保や、育児部分休業の活用など仕事と家庭を両立させるための柔軟な勤務時間体制を推進する。 ・各種の業務のあり方について他院の取組み等を研究し、業務内容の検証及び研修体制を拡充し質の向上を図り、さらなる職員の業務負担軽減を推進する。 ・職員の福利厚生について、他院の状況を把握しあり方を検討する。 <p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <p>全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診（定期健康診断、人間ドック）、任意検査等（各種抗体検査、各種予防接種）を実施する。</p> <p>3 院内保育施設の充実</p> <p>仕事と家庭の両立を支援するため、夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づくりに努める。</p>	<p>1 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の勤務環境改善に向けた県指定モデル病院として、有給休暇取得向上に取り組み、年次休暇などの取得率を上げた。 <p>【有給休暇取得率】 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>22.9</td> <td>27.3</td> </tr> <tr> <td>夏期休暇</td> <td>88.3</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>誕生日休暇</td> <td>73.5</td> <td>74.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>21</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度実施に向けたストレスチェックの準備や、定期健康診断における要精密検査等の未実施職員への受診指導を所属長から行う体制を導入し、健康管理対策の充実に努めた。 <p>【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 院内保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。 <p>【院内保育状況】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">入所者数</td> <td>37</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜間保育</td> <td>利用者数</td> <td>32</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>対応曜日</td> <td>金曜日</td> <td>木曜日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">休日保育</td> <td>96</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td colspan="2">病児保育利用（延人数）</td> <td>96</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	年次休暇	22.9	27.3	夏期休暇	88.3	92.5	誕生日休暇	73.5	74.7	区分\年度	H26	H27	利用者数	21	27		H26	H27		7	9	区分\年度		H26	H27	入所者数		37	54	夜間保育	利用者数	32	46	対応曜日	金曜日	木曜日	休日保育		96	110	病児保育利用（延人数）		96	116	IV		<p>休暇取得率の向上、育児部分休業・短時間勤務利用者数の増加など職員の就労環境の向上は、提供する医療の質に直結するため評価できる。</p>
区分\年度	H26	H27																																																		
年次休暇	22.9	27.3																																																		
夏期休暇	88.3	92.5																																																		
誕生日休暇	73.5	74.7																																																		
区分\年度	H26	H27																																																		
利用者数	21	27																																																		
	H26	H27																																																		
	7	9																																																		
区分\年度		H26	H27																																																	
入所者数		37	54																																																	
夜間保育	利用者数	32	46																																																	
	対応曜日	金曜日	木曜日																																																	
休日保育		96	110																																																	
病児保育利用（延人数）		96	116																																																	